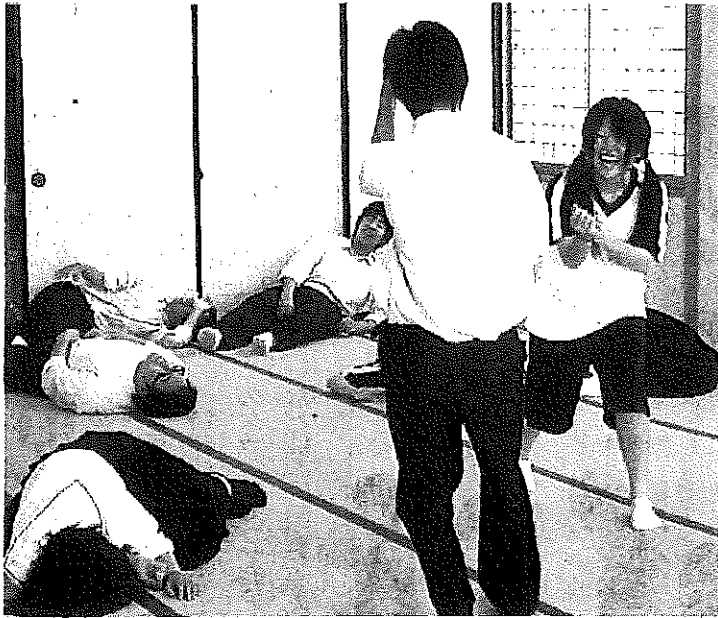


全身使って自己表現

浜松開誠館高

演劇取り入れ授業

浜松市中区松城町の浜松開誠館高で6日、演劇の練習の要素を取り入れて「コミュニケーション能力や表現力を養うワークショップ「ドラマケーション」が開かれた。2年生約100人が全身を使って表現する技術を楽しみながら学んだ。



5～7月に外部講師を招いて計4回行う特別授業の3回目。同ワークショップの普及に取り組む「ドラマケーション普及センター」（東京都）講師の俳優や演出家が指導役を務めた。

生徒はチャンバラのシーンをパントマイムで演じたり、順番にジエスチャーして当て合うゲームなどに取り組んだ。

ドラマケーションの講師を派遣する文化庁の事業に、同校がキャリア教育の一環として応募して行われた。

チャンバラのシーンに臨む生徒＝浜松市中区の浜松開誠館高